

取扱説明書

ガスファンヒーター

家庭用

保証書付

ご愛用の皆様へ

- このたびは、ガスファンヒーターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の一部が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は家庭用です。業務用のような使い方をされますと著しく機器寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、当社交換部品、お手入れ品などの販売サイトR.STYLE (https://www.rinnai-style.jp/) または、お買い上げの販売店にてお問い合わせください。

必ず換気する。
使用中は1時間に1～2回(1～2分)程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。
換気をしないと一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

故障・修理・製品についてのお問い合わせ

インターネットの場合

修理のお申し込み お問い合わせ・サポート

修理の受付：365日24時間
お問い合わせ：平日9:00～18:00 土日祝9:00～17:00
※年末年始は除く

フリーダイヤル ☎ 0120-054321
携帯電話からは下記におかけください。(通話料が発生します。)

ナビダイヤル ☎ 0570-550258

保守点検・所有者登録についてのお問い合わせ

保守点検センター ☎ 0120-493110 受付時間 平日9:00～18:00
※土日祝など当社指定日除く



RC-U5801-194(02)
220701●

品名 RC-U5801PE 型
形式の呼び RC-U5801PE (G)

ガスファンヒーター保証書

この製品は厳密な品質管理および検査を経てお届けしたものです。本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 記**
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
 - ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - ご購入品ごと本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
 - 本保証書は再発行いたしません。もので大切に保管してください。
 - 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または、もよりの弊社窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に出張して本書ををご提示ください。なお、風呂および風呂に隣接する浴場へ出張修理を行った場合には、出張に要する費用を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合に有料修理になります。
(1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(2) お買い上げ後の付帯物の移動、着ておこなった取組および損傷。
(3) 火災、水害、地震、雷害、その他の天災地変、公害や異常気象による故障。
(4) 本保証書は再発行いたしません。もので大切に保管してください。
- 保証期間後の修理 (例えば、業務用の長時間使用、車庫、船中の搭載) に使用された場合の故障および損傷。
- (5) 事故原因の調査は、業務用の長時間使用、車庫、船中の搭載) に使用された場合の故障および損傷。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
住所			
電話番号			

リンナイ株式会社

修理記録：この機器の修理記録は、機器に付属の故障診断シートに記録します。
お客様：この保証書をお受け取りになるときに「お買い上げ日」・「販売店名」・「取扱者印」が記入してあることを確認してください。

このガスファンヒーターの設計上の標準使用期間は製造から10年です。
標準使用期間を超えて使い続けると、経年劣化によって思わぬ事故に及ぶおそれがありますので、製造後10年経過したら、あんしん点検を受けながら機器の取り替えをお勧めしています。
あんしん点検については「Eco」保管とアフターサービス」をご覧ください。
設計上の標準使用期間は、標準的な使用頻度で適切に使用・維持管理された場合に安全上支障なく使用できる標準的な数のことで、この年数の算出条件は一般社団法人日本ガス石油機器工業会が定めた自主基準を基にしています (製造年月の確認のしかたは「Eco」安全上のご注意 (使用ガスおよび使用電源の確認)」に記載しております)。使用によっては、設計上の標準使用期間よりも早劣化することがあります。

1 安全上のご注意 必ずお守りください

- 製品を正しくお使いいただくためや、お客様や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

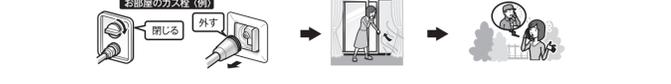
■絵表示について次のような意味があります。

ガス漏れに気づいたときは

- 絶対に火をつけない
- 電気器具のスイッチの入 / 切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電源を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

■ガス漏れに気づいたら、すぐに使用を中止する

- ①ガス検とメーターのガス栓を閉じる。つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外す。
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③外に出て、もよりのガス事業者 (供給業者) に連絡する。



警告

使用ガスおよび使用電源の確認

- 機器本体銘板に記載してあるガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) 以外のガスおよび電源では使用しない
- 記載のガスおよび電源と使用ガスおよび使用電源が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒に陥ったり、異常な火や機器故障の原因になります。必ずお守りください。
- 転売された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。
- わからない場合はお買い上げの販売店、または、もよりのガス事業者 (供給業者) に連絡してください。

改造・分解禁止

■お客様ご自身では工具を使用して絶対分解したり修理・改造したりしない

- 一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
- 修理・改造・分解は高度な専門知識が必要です。

周囲の防火措置

- 家具や壁、棚など可燃性の部分との距離を十分に離す
- 火災や機器故障によるやけどの原因になります。
- 燃焼の温度が極めて高いため、正しいお部屋の温度が検知できないことがあります。
- 機器の後方が近いと、安全装置がはたらいて運転が停止することがあります。



ガス接続

- ガス接続は別売のガスコード (小口径迅速継手付) を使用する
- 接続の際にはガスコードおよび機器のガス接続口に傷やごみなどの異物がないことを確認し、確実に接続してください。
- 確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

以下のガス接続厳禁

- スリムプラグ・機器用ソケット・ゴム管・クチコム付ガスホースを使用しない
- ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。
- ガスコードの上に物をのせたり、踏まれるまたは挟まれる状況で使用したりしない
- ガスコードが破損し、ガス漏れが生じ、火災の原因になります。
- ガスコードを巻き足したり、天井などを通したりしない
- 接続部からガス漏れが生じ、火災の原因になります。

温風をじかに当てない

- 低温やけどに注意する
- 温風の直接当たる場所では就寝しないでください。低温でも連続的に当たると低温やけどの原因になります。(特に乳幼児、小さなお子様、お年寄り、病人など、自分の意思で身体を動かさない方、疲労が激しいとき、お酒や薬を飲んだとき、皮膚や皮膚病の弱い方などがおおいときは、周りの方を注意してください。)
- 温風をじかに長時間、体に当てない
- 体調悪化や健康障害の原因になります。

1 時間に1～2回換気する

- 必ず換気する。使用中は1時間に1～2回(1～2分)程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する
- 換気をしないと、一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。
- 換気は2分(以上の風の出入りのある)開口部を設けると効果よくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けないと十分な換気ができない場合があります。
- 24時間換換中であっても、換気を行う必要があります。

■イオン運転と燃焼器具をいっしょに使う場合も換気する

イオン運転は燃焼ガスの浄化はできません。

■換気できない場所では使用しない

窓が閉鎖する場所や地下室など、換気ができない場所では使用しない。一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

火災予防、スプレー缶厳禁

- 機器の近くには、燃えやすいものを置かない
- 機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、可燃物 (家具、カーテン、洗濯物など) を近づけないでください。
- 使用中は外出、就寝しない
- 炎など予期せぬ事故の原因になります。(おはよう / おやすみタイマーの場合は除く。)
- 機器の近くでは、引火のおそれのあるものを使用しない
- スプレー・カトリン・ペンジンなどを使用したり、使用したおしぼりなどで引火し、引火して火災のおそれがあります。
- 吹出し口・エアフィルターをふさがない、また紙・布・異物などを入れない
- 異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
- スプレー缶を機器の前に置かない
- 機器の上部より、吹出し口の前方でスプレー缶 (殺虫剤・ヘアスプレー・カセットコンロ用ペンなど) を使用したり、置いたりしない
- 熱で内部の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

異常時の処置

- 異常時は使用を中止して、ガス栓を閉じる
- 点火しない場合や使用中に異常な燃焼・異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用中で消失する場合は、たちちに使用を中止しガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 異常を感じたときは「E」故障かな?と表示したり、「E」安全装置が作動したときの処置」に従う。
- 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、当社お客様センター (フリーダイヤル: 0120-054321) に連絡する。
- 地震、火災などの緊急の場合は、たちちに使用を中止し、ガス検とメーターのガス栓を閉じる (つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)

設置場所

- 段差のある床面に設置しない
- 温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 電気ファン・温水マットの上下には設置しない
- 機器の重みで電気ファン・温水マットが故障することがあります。
- カーペット・温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。
- 吹出し口の前にギャラリ (格子) を取り付けない
- 温度調節が正しく行われず、火災の原因になります。
- ドアの近くに置かない
- 機器の転倒や、やけどなどのおそれがあります。
- 特殊な場所に設置しない
- 乾燥機・温室・観植物の前室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。植物が枯れたり、動物が死亡したりするおそれがあります。
- スプレーや化学薬品を使用する場所および納まりの多い場所 (理・美容院や、メッキ・塗装工場など)、小粉の多い場所 (製粉所など) では使用しない
- コンクリートや金属床は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、剥離や異臭が生じたりする原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因になります。
- 機械油や天ぷら油など油成分が滲漏している場所に置かない
- 機器の樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。
- 高温や多湿になる場所に置かない、保管しない
- 機器の金属部がさびたり、樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。また、機器故障の原因になります。
- 水のかかる場所に設置しない
- 浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金魚ばなど置かない
- 漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 機器が傾くと、転倒し運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで洗んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアの上に置くと、温風の熱で変色したり、破損したりすることがあります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

廃棄時の注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
- お客様ご自身で処理する場合、乾電池を使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

ご使用について

- 機器の上に履かけたり、のったりしない
- お年寄りや、やけどの原因になります。
- 機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼など機器故障のおそれがあります。
- くんじゅうタイプ (発煙型) の殺虫剤・防虫剤を使用する場合は運転しない
- 機器内に薬剤成分が蓄積し、その後吹出し口から放出されて、健康に良くないことがあります。
- 殺虫剤・防虫剤を機器にかけたり、機器の近くで使用したりしない
- 機器の樹脂部が変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 吹出し口の前後や周囲にものを置いたり、機器背面 (エアフィルター部) をふさいだりしない
- 機器が過熱し、やけどや機器故障の原因になります。
- 床やじゅうたんの変色やヒビ割れ、プラスチック製の場合は変形、変色のおそれがあります。
- エアフィルターを外して運転しない
- 機器内部へのほり詰まりによる機器故障の原因になります。
- 吹出し口に指や鉛筆などを入れない
- 対流ファンが回転しているため、けがや、やけどや機器故障の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

ガス事故防止

- ガス栓を閉じる
- 外出時や、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じてください。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点火・消火の確認をする
- 使用時のほり詰まりによる機器故障の原因になります。

電源コード・プラグについて

- いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
- 感電、発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグを抜いて停止しない
- 機器の過熱の原因になります。
- 電源コードを持って引き抜かない
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。
- 切断して延長しない
- 機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。感電や火災などの原因になります。
- 無理な力を加えたり、重いものをのせたりしない、また、たばねたまま使用しない
- 感電や火災などの原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使用や、交流 (AC) 100V 以外で使わない
- たこ足配線などで指定された定格を超えること、発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがの原因になります。
- 電源プラグのほり詰りなどは定期的にする
- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。電源プラグにほり詰りがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグは損元までしっかりコンセントに差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電、発熱による火災の原因になります。

異常時の処置

- 異常時は使用を中止して、ガス栓を閉じる
- 点火しない場合や使用中に異常な燃焼・異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用中で消失する場合は、たちちに使用を中止しガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 異常を感じたときは「E」故障かな?と表示したり、「E」安全装置が作動したときの処置」に従う。
- 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、当社お客様センター (フリーダイヤル: 0120-054321) に連絡する。
- 地震、火災などの緊急の場合は、たちちに使用を中止し、ガス検とメーターのガス栓を閉じる (つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)

外付け装置による遠隔操作厳禁

- スマートフォンやIT機器を使ってガスファンヒーターのスイッチを操作する外付け装置は使用しない
- 機器を誤作動させる原因になります。また、機器の変形や故障の原因になります。
- ※操作ボタン付近に設置し、インターネット通信等を介して、操作ボタンを「入」切) できる装置。

注意

火災予防

- 暖房以外の用途 (衣類の乾燥など) には使用しない
- 衣類・毛布・カーペットなどを機器の上に置いたり、掛けたりしないでください。火災や発熱による事故の原因になります。また、機器の変形や故障の原因にもなります。
- 運転したまま持ち運びしない
- ガスコードが折れて異常燃焼の原因になったり、ガスコードの接続が不完全になり、ガス漏れの原因になります。また、やけどなどの原因にもなります。
- 火のついたタバコ・線香などを近づけない
- 引火して火災の原因になるおそれがあります。
- 棚の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しない
- 落下物によっては、火災のおそれや機器故障の原因になります。

設置場所

- 段差のある床面に設置しない
- 温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 電気ファン・温水マットの上下には設置しない
- 機器の重みで電気ファン・温水マットが故障することがあります。
- カーペット・温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。
- 吹出し口の前にギャラリ (格子) を取り付けない
- 温度調節が正しく行われず、火災の原因になります。
- ドアの近くに置かない
- 機器の転倒や、やけどなどのおそれがあります。
- 特殊な場所に設置しない
- 乾燥機・温室・観植物の前室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。植物が枯れたり、動物が死亡したりするおそれがあります。
- スプレーや化学薬品を使用する場所および納まりの多い場所 (理・美容院や、メッキ・塗装工場など)、小粉の多い場所 (製粉所など) では使用しない
- コンクリートや金属床は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、剥離や異臭が生じたりする原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因になります。
- 機械油や天ぷら油など油成分が滲漏している場所に置かない
- 機器の樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。
- 高温や多湿になる場所に置かない、保管しない
- 機器の金属部がさびたり、樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。また、機器故障の原因になります。
- 水のかかる場所に設置しない
- 浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金魚ばなど置かない
- 漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 機器が傾くと、転倒し運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで洗んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアの上に置くと、温風の熱で変色したり、破損したりすることがあります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

水ぬれ禁止

- 水のかかる場所に設置しない
- 浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金魚ばなど置かない
- 漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 機器が傾くと、転倒し運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで洗んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアの上に置くと、温風の熱で変色したり、破損したりすることがあります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

廃棄時の注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
- お客様ご自身で処理する場合、乾電池を使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

ご使用について

- 機器の上に履かけたり、のったりしない
- お年寄りや、やけどの原因になります。
- 機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼など機器故障のおそれがあります。
- くんじゅうタイプ (発煙型) の殺虫剤・防虫剤を使用する場合は運転しない
- 機器内に薬剤成分が蓄積し、その後吹出し口から放出されて、健康に良くないことがあります。
- 殺虫剤・防虫剤を機器にかけたり、機器の近くで使用したりしない
- 機器の樹脂部が変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 吹出し口の前後や周囲にものを置いたり、機器背面 (エアフィルター部) をふさいだりしない
- 機器が過熱し、やけどや機器故障の原因になります。
- 床やじゅうたんの変色やヒビ割れ、プラスチック製の場合は変形、変色のおそれがあります。
- エアフィルターを外して運転しない
- 機器内部へのほり詰まりによる機器故障の原因になります。
- 吹出し口に指や鉛筆などを入れない
- 対流ファンが回転しているため、けがや、やけどや機器故障の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

ガス事故防止

- ガス栓を閉じる
- 外出時や、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じてください。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点火・消火の確認をする
- 使用時のほり詰まりによる機器故障の原因になります。

電源コード・プラグについて

- いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
- 感電、発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグを抜いて停止しない
- 機器の過熱の原因になります。
- 電源コードを持って引き抜かない
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。
- 切断して延長しない
- 機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。感電や火災などの原因になります。
- 無理な力を加えたり、重いものをのせたりしない、また、たばねたまま使用しない
- 感電や火災などの原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使用や、交流 (AC) 100V 以外で使わない
- たこ足配線などで指定された定格を超えること、発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがの原因になります。
- 電源プラグのほり詰りなどは定期的にする
- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。電源プラグにほり詰りがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグは損元までしっかりコンセントに差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電、発熱による火災の原因になります。

異常時の処置

- 異常時は使用を中止して、ガス栓を閉じる
- 点火しない場合や使用中に異常な燃焼・異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用中で消失する場合は、たちちに使用を中止しガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 異常を感じたときは「E」故障かな?と表示したり、「E」安全装置が作動したときの処置」に従う。
- 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、当社お客様センター (フリーダイヤル: 0120-054321) に連絡する。
- 地震、火災などの緊急の場合は、たちちに使用を中止し、ガス検とメーターのガス栓を閉じる (つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)

設置場所

- 段差のある床面に設置しない
- 温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 電気ファン・温水マットの上下には設置しない
- 機器の重みで電気ファン・温水マットが故障することがあります。
- カーペット・温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。
- 吹出し口の前にギャラリ (格子) を取り付けない
- 温度調節が正しく行われず、火災の原因になります。
- ドアの近くに置かない
- 機器の転倒や、やけどなどのおそれがあります。
- 特殊な場所に設置しない
- 乾燥機・温室・観植物の前室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。植物が枯れたり、動物が死亡したりするおそれがあります。
- スプレーや化学薬品を使用する場所および納まりの多い場所 (理・美容院や、メッキ・塗装工場など)、小粉の多い場所 (製粉所など) では使用しない
- コンクリートや金属床は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、剥離や異臭が生じたりする原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因になります。
- 機械油や天ぷら油など油成分が滲漏している場所に置かない
- 機器の樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。
- 高温や多湿になる場所に置かない、保管しない
- 機器の金属部がさびたり、樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。また、機器故障の原因になります。
- 水のかかる場所に設置しない
- 浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金魚ばなど置かない
- 漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 機器が傾くと、転倒し運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで洗んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアの上に置くと、温風の熱で変色したり、破損したりすることがあります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

水ぬれ禁止

- 水のかかる場所に設置しない
- 浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金魚ばなど置かない
- 漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 機器が傾くと、転倒し運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで洗んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアの上に置くと、温風の熱で変色したり、破損したりすることがあります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

廃棄時の注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
- お客様ご自身で処理する場合、乾電池を使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

ご使用について

- 機器の上に履かけたり、のったりしない
- お年寄りや、やけどの原因になります。
- 機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼など機器故障のおそれがあります。
- くんじゅうタイプ (発煙型) の殺虫剤・防虫剤を使用する場合は運転しない
- 機器内に薬剤成分が蓄積し、その後吹出し口から放出されて、健康に良くないことがあります。
- 殺虫剤・防虫剤を機器にかけたり、機器の近くで使用したりしない
- 機器の樹脂部が変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 吹出し口の前後や周囲にものを置いたり、機器背面 (エアフィルター部) をふさいだりしない
- 機器が過熱し、やけどや機器故障の原因になります。
- 床やじゅうたんの変色やヒビ割れ、プラスチック製の場合は変形、変色のおそれがあります。
- エアフィルターを外して運転しない
- 機器内部へのほり詰まりによる機器故障の原因になります。
- 吹出し口に指や鉛筆などを入れない
- 対流ファンが回転しているため、けがや、やけどや機器故障の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

ガス事故防止

- ガス栓を閉じる
- 外出時や、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じてください。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点火・消火の確認をする
- 使用時のほり詰まりによる機器故障の原因になります。

電源コード・プラグについて

- いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
- 感電、発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグを抜いて停止しない
- 機器の過熱の原因になります。
- 電源コードを持って引き抜かない
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。
- 切断して延長しない
- 機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。感電や火災などの原因になります。
- 無理な力を加えたり、重いものをのせたりしない、また、たばねたまま使用しない
- 感電や火災などの原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使用や、交流 (AC) 100V 以外で使わない
- たこ足配線などで指定された定格を超えること、発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがの原因になります。
- 電源プラグのほり詰りなどは定期的にする
- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。電源プラグにほり詰りがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグは損元までしっかりコンセントに差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電、発熱による火災の原因になります。

異常時の処置

- 異常時は使用を中止して、ガス栓を閉じる
- 点火しない場合や使用中に異常な燃焼・異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用中で消失する場合は、たちちに使用を中止しガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 異常を感じたときは「E」故障かな?と表示したり、「E」安全装置が作動したときの処置」に従う。
- 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、当社お客様センター (フリーダイヤル: 0120-054321) に連絡する。
- 地震、火災などの緊急の場合は、たちちに使用を中止し、ガス検とメーターのガス栓を閉じる (つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)

設置場所

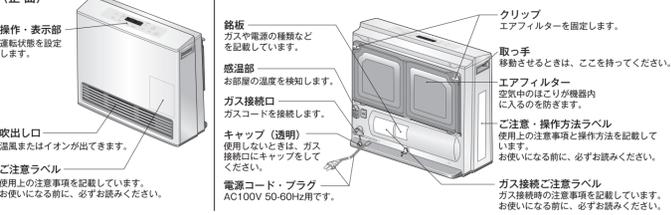
- 段差のある床面に設置しない
- 温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 電気ファン・温水マットの上下には設置しない
- 機器の重みで電気ファン・温水マットが故障することがあります。
- カーペット・温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。
- 吹出し口の前にギャラリ (格子) を取り付けない
- 温度調節が正しく行われず、火災の原因になります。
- ドアの近くに置かない
- 機器の転倒や、やけどなどのおそれがあります。
- 特殊な場所に設置しない
- 乾燥機・温室・観植物の前室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。植物が枯れたり、動物が死亡したりするおそれがあります。
- スプレーや化学薬品を使用する場所および納まりの多い場所 (理・美容院や、メッキ・塗装工場など)、小粉の多い場所 (製粉所など) では使用しない
- コンクリートや金属床は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、剥離や異臭が生じたりする原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因になります。
- 機械油や天ぷら油など油成分が滲漏している場所に置かない
- 機器の樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。
- 高温や多湿になる場所に置かない、保管しない
- 機器の金属部がさびたり、樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。また、機器故障の原因になります。
- 水のかかる場所に設置しない
- 浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金魚ばなど置かない
- 漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 機器が傾くと、転倒し運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで洗んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアの上に置くと、温風の熱で変色したり、破損したりすることがあります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

電源コード・プラグについて

- 点検やお手入れの際は、必ず電源プラグを抜く
- 感電やけがをすることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

2 各部のなまえとはたらき



5 運転・停止のしかた

ガスファンヒーターの基本操作のしかたです。

暖房運転のしかた

●暖房運転スイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)

- 運転 / 燃焼ランプが点灯し、表示部が暖房運転表示からスポット暖房表示になります。
- 初めてお使いのときは、イオン運転ランプ (緑色) が点灯します。
- 対流ファンが回転します。
- 表示部が現在時刻表示から温度表示に変わります。
- おやすみタイマー運転中は、燃焼ランプが緑色からオレンジ色になり、バーナーに点火したことをお知らせします。 [5]〜[10]秒以上燃焼し、運転 / 燃焼ランプが緑色からオレンジ色になり、バーナーに点火したことをお知らせします。
- 消し忘れを防ぐため、暖房運転開始後、設定した時間 (3時間・5時間・8時間) が経過すると、自動的に消火します。
- 最初お使いのときは8時間に設定されています。
- ※初めてお使いのときは、しばらくご使用にならなかった後の運転開始時に、煙やにおいがあることがありますが、故障ではありません。

換気サインについて

●1時間ごとに換気サインが点滅します。

- 1時間連続して暖房運転すると、換気サインの赤色点滅とブザーで、換気が必要なお知らせをします。1〜2分間継続、換気期間を必ず、意を固めてよく換気してください。

- 換気サインの赤色点滅は、1分間継続すると自動的に消火します。
- おやすみタイマー運転中は、換気サインが赤色点滅しますが、ブザーは鳴りません。
- 換気サインはお部屋の空気の汚れを検知しているものではありません。換気をしても1時間ごとに点滅します。

停止のしかた

●暖房運転スイッチを押します。

- 運転 / 燃焼ランプが消灯します。
- 表示部は現在時刻表示に戻り、約10秒後に少し暗くなります。
- 対流ファンは運転開始後しばらく経過後に停止します。これは機器内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。
- この間、電源プラグは抜かないでください。

- お願い
- ▶消火後、運転 / 燃焼ランプが消灯していることを必ず確認してください。

- ロックがセットされているときは、停止してもロックランプは点灯し続け、ロックは取り消されません。

6 室温調節のしかた

室温の設定および変更は、暖房運転中しかできません。

●「V」または「^」スイッチを押して、室温を設定します。

- 初めて暖房運転されるときは、設定室温が22℃に設定されています。
- 表示部を動かすには「V」または「^」スイッチを押して、希望の室温に設定してください。設定室温は「L」(約10℃)「F1」〜「F6」(「H」(連続して強運転)の範囲で設定できます。

●一度設定した設定室温は26℃が記憶しています。

- お部屋の構造、設置場所、室外温度などによっては、設定された室温にならない場合があります。また、弱燃焼になっても、お部屋の温度が下がっていないことがありますので、このような場合には、Eco運転を推奨します。

7 スポット暖房運転のしかた

室温に関係なく、暖房能力 (5段階選択) を自由に運転できます。自分の足元や周辺だけを暖めたいときに便利です。

1.暖房運転中にスポットスイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)

- スポットランプ (緑色) が点灯し表示部が温度表示からスポット暖房表示になります。
- スポットランプ (緑色) が消灯し、表示部がスポット暖房表示から温度表示になります。

- スポット暖房運転中にはおやすみタイマー運転をセットすると、スポット暖房運転が解除されて、通常のおやすみタイマー運転の待機中になります。
- スポット暖房運転中に暖房運転スイッチを押しても設定できません。
- おやすみタイマー運転中は、おやすみタイマー運転を押しても「ピッピ」と鳴って、スポット暖房運転はできません。
- 電源プラグをコンセントから8時間以上抜いたり、8時間以上停電したりしたときは、スポット暖房は解除され、スポット暖房運転の設定は初期状態 (P5) に戻ります。

8 イオン運転のしかた (プラスクラスターイオン運転)

プラスクラスターイオンが、浮遊する力と負電(※1)を発生します。(すでに肌面などに付着した負電を除去することはできません。)

- ※1●試験機関 (財) 石川県予防医学協会 ●試験方法：約31㎡ (約8畳相当) の試験空間にプラスクラスターイオンを放出し、浮遊力価をエアサンプリャーにて測定。(プラスクラスターイオン濃度：3,000個/㎤) ●試験結果：約195分で除去率99%

イオン運転のしかた

1.イオン運転スイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)

- イオン運転ランプ (緑色) が点灯し、表示部が現在時刻表示からイオン運転表示になります。
- 吹き出し口からイオンを放出します。

2.「V」または「^」スイッチを押して、「H」(強)・「L」(弱)を設定します。

- 初めてお使いのときは「H」(強) に設定されています。
- イオン運転中に「F1」〜「F6」と音がすることがありますが、異常ではありません。
- 微弱なオゾンの発生により、においを感じる場合があります。濃度がごくわずかであり健康上問題はありません。また、放出されたオゾンはよく分解されるため、部屋に充満することはありません。

停止のしかた

●イオン運転スイッチを押します。

- イオン運転ランプが消灯し、表示部がイオン運転表示から現在時刻表示になります。

暖房・イオン同時運転のしかた

●暖房運転中、イオン運転スイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)

- イオン運転ランプ (緑色) が点灯し、暖房・イオン同時運転を開始します。
- イオン運転中に暖房運転スイッチを押しても設定できます。
- 暖房・イオン同時運転中はイオン運転風量の切り替えはできません。暖房運転を優先します。

暖房・イオン同時運転の取り消しかた

●暖房・イオン同時運転中にイオン運転スイッチを押します。

- イオン運転ランプが消灯し、通常の暖房運転に戻ります。

9 ロックのしかた

小さなお子様のいたすらによる事故を防止するため、ロック機能がついています。

●「V」スイッチと「^」スイッチを同時に押します。

- ロックランプ (緑色) が点灯します。

●ロックの取り消しかた

- 「V」スイッチと「^」スイッチを同時に1秒以上押ししてください。
- ロックランプが消灯します。

- 運転中にロックをセットしたときは、暖房運転スイッチ・イオン運転スイッチの停止操作以外は操作できなくなります。
- 運転中にロックをセットしたときは、すべてのスイッチの操作が停止となります。
- 電源プラグをコンセントから8時間以上抜いたり、8時間以上停電したりしたときは、ロックは解除されます。

10 ブザー機能について

この機器は、スイッチ操作時や安全装置が作動したときにブザーでお知らせする機能がついています。

お知らせはブザーでお知らせする設定になっています。また、ブザー音は消すこともできます。

スイッチ操作と機器の動作状態	ブザー音
スイッチ入/実行時	ビーン
スイッチ(切)解除時	ピー
換気サイン点滅時	ピッ、ピッ、ピッ
フィルター掃除サイン点滅時	ピーピー(10回)
安全装置作動時	ビーンビーン(20回)

- ブザー音を消した場面にも、安全装置作動時には、ブザーでお知らせします。

<div>1</div> <p>表示部から</p> <ul style="list-style-type: none">●表示部がブザー機能切り替えモードになります。 ●初めてお使いのときは「on」(ブザーあり)に設定されています。	<div>2</div> <p>押す</p> <ul style="list-style-type: none">●「off」を押し、「off」(ブザー音なし)に設定する。
<div>3</div> <p>コンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none">●ブザー音ありに戻すには ▶再度「on」操作をし、ブザー機能切り替えモードを表示させ、 ●「on」を押し「on」にして、「on」の操作をする。	

11 おはようタイマー運転のしかた

ご希望の時刻に暖房運転を開始し、1時間後に自動的に停止する機能です。

1.おはようタイマー運転の前に確認してください。

- お部屋のガス栓は完全にしてください。
- 現在時刻は設定されていますか。 (設定していないときは、「お使いになる前に (現在時刻の設定)」をご覧ください。
- 室温調節は設定されていますか。 (設定されていないときは、「室温調節のしかた」をご覧ください)
- 運風方向に障害物や可燃物はありませんか。(特に温風がしっかりと身体に当たらないようにしてください)

2.設定スイッチを2回押します。(ピッと音がするまで押します。2回)

- 設定ランプのおはよう時刻のランプ (緑色) が点滅します。
- 表示部に設定時刻が点滅表示されます。
- 初めてお使いのときは、表示部に「6:00」が点滅表示されます。次回からは前回設定した時刻を表示します。

3.「V」または「^」スイッチを押しておはようタイマー運転の時刻を設定します。

- おはようタイマー時刻の設定のしかたは、現在時刻の設定と同じです。

4.設定スイッチを2回押します。(ピッと音がするまで押します。2回)

- 設定ランプのおはよう時刻のランプが消灯し、表示部が現在時刻表示になります。表示部は約10秒後に少し暗くなります。
- おはようタイマー時刻が設定されます。

5.おはようスイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)

- おはようランプ (緑色) と運転 / 燃焼ランプ (緑色) が点灯します。
- おはようタイマー時刻が設定された後、約10秒後に現在時刻に戻り、表示部が少し暗くなります。
- おはようタイマー時刻が約10分経過すると、自動的に消火します。

- おはようタイマーは、運転中でも途中ででもセットできます。
- (暖房運転中にセットする場合、おはようスイッチを押したとき、燃焼が停止し、おはようタイマー運転の待機中になります。)

6.設定した時刻になると暖房運転を開始します。

- 運転 / 燃焼ランプ (オレンジ色) が点灯します。

7.約1時間経過後に暖房運転を停止します。

- 暖房運転を停止する前 (約55分経過後に) おはようランプ (緑色) の点滅で、約5分後に自動的に暖房運転を停止することをお知らせします。
- 停止すると、現在時刻表示に戻り、表示部は約10秒後に少し暗くなります。また、おはようランプ (緑色) は点滅し続け、運転 / 燃焼ランプ (オレンジ色) は消灯します。
- 暖房運転スイッチを押すとおはようランプ (緑色) は消光します。

●おはようタイマー運転の取り消しかた

おはようタイマー運転の待機中におはようスイッチを押すか、暖房運転スイッチを押すと、解除されて、暖房運転が停止します。

- おはようタイマー運転中は設定室温が「H」の場合でも、自動的に26℃の設定で暖房運転します。
- 現在時刻が設定されていないと、おはようタイマー運転はセットできません。
- おはようタイマー運転の待機中、おはよう運転中は、スポットスイッチを押しても「ピッピ」と鳴って、スポット暖房運転はできません。

12 おやすみタイマー運転のしかた

ご希望の時間 (60分・45分・30分・15分) が経過すると、自動的に暖房運転を停止します。

1.おやすみスイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)

- おやすみランプ (緑色) が点滅します。
- 表示部に設定時間が表示されます。(約10秒間)
- 初めてお使いのときは、表示部に「60」が表示されます。次回からは前回設定した時間を表示します。
- 停止中におやすみスイッチを押すと、すぐに暖房運転を開始して、運転 / 燃焼ランプが緑色からオレンジ色になります。
- おやすみタイマーは、運転中でも途中ででもセットできます。
- (暖房運転中にセットする場合、おやすみスイッチを押したとき、おやすみタイマー運転が変わり、設定時間が経過すると、暖房運転を停止します。)

2.「V」または「^」スイッチを押しておやすみタイマー運転の時間を設定します。

- おやすみタイマー時刻の設定のしかたは、現在時刻の設定と同じです。
- おやすみタイマー時刻が約10分経過すると、自動的に消火します。

- おやすみタイマー運転の時間が確定されるとおやすみランプ (緑色) が点滅から点灯に変わります。表示部が温度表示になります。

●お願い

- ▶表示部に時間が表示されている間 (約10秒間) に設定してください
- ▶設定室温を変えたいときは、表示部が現在室温に変わってから操作してください。

3.設定時間後に暖房運転を停止します。

- 暖房運転を停止する5分前におやすみランプ (緑色) の点滅で自動的に暖房運転を停止することをお知らせします。
- おやすみランプ (緑色) と運転 / 燃焼ランプ (オレンジ色) の消灯します。

●おやすみタイマー運転の取り消しかた

おやすみタイマー運転中におやすみスイッチを押すか、暖房運転スイッチを押すと、解除されて、暖房運転が停止します。

- おやすみタイマー運転中は設定室温が「H」の場合でも、自動的に26℃の設定で暖房運転します。

13 おやすみとおはようタイマーを組み合わせて使う

「おやすみタイマー」と「おはようタイマー」を組み合わせて使用できます。

- くわしい操作は「11」おはようタイマー運転のしかた」「12」おやすみタイマー運転のしかた」をご覧ください。
- 組み合わせてタイマー運転中に暖房運転スイッチを押すと、すべてのタイマー運転が解除され、暖房運転が停止します。

「おやすみタイマー」の運転中に「おはようタイマー」運転をセットする。
1.おやすみタイマーの運転中におはようスイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)
<ul style="list-style-type: none">おはようランプ (緑色) が点灯します。 おはようタイマー時刻がセットされます。
2.おやすみタイマー運転が終了します。
<ul style="list-style-type: none">暖房運転を停止する5分前におやすみランプ (緑色) の点滅で自動的に暖房運転を停止することをお知らせします。
3.おはようタイマー運転の待機中になります。

「おはようタイマー」の待機中に「おやすみタイマー」運転をセットする。

- おはようタイマーの待機中におやすみスイッチを押します。(ピッと音がするまで押します。)
- おやすみランプ (緑色) が点滅して、10秒後に点灯に変わります。
- 暖房運転を開始します。
- 暖房運転を停止する5分前におやすみランプ (緑色) の点滅で自動的に暖房運転を停止することをお知らせします。
- おはようタイマー運転の待機中に戻ります。

14 Eco 運転のしかた

お部屋を暖めやすく、快適さを保ちながら効率的に暖房運転をする機能です。

▶Eco 運転の設定のしかた

- 設定スイッチを3回押します。(ピッと音がするまで押します。3回)
- 「^」スイッチを押します。
- 表示部の点滅表示が「of」(Ecoなし) →「on」(Eco運転) になります。
- 暖房運転中に設定した場合、表示部のEcoランプが点灯し、Eco運転に変わります。
- 停止中に設定した場合、次回運転するときは、Eco運転を行います。

●Eco 運転の取り消しかた

- 設定ランプのEcoランプが消灯し、設定モードを終了します。

1.設定スイッチを3回押します。(ピッと音がするまで押します。3回)

- 設定モードを開始し、設定ランプのEcoランプ (緑色) が点滅します。

2.「V」スイッチを押します。

- 表示部の点滅表示が「on」(Eco運転) →「of」(Ecoなし) になります。
- 暖房運転中に設定された場合、表示部のEcoランプが消灯し、通常の暖房運転に変わります。
- 停止中に設定解除した場合、次回運転するときは、通常の暖房運転を行います。

3.設定スイッチを押します。

- 設定ランプのEcoランプが消灯し、設定モードを終了します。
- Eco運転中に自動消火した場合は、運転 / 燃焼ランプは緑色に点灯します。
- Eco運転中に自動消火した場合は、吹き出し口からしばらくの間、風が吹出します。
- お部屋の温度が設定室温より高い場合でもいったん点滅して、すぐに消火することがあります。

▶Eco 運転のしくみ

- 暖かいとき
お部屋の温度が設定室温になってから30分経過後、30分間に1℃の下り幅で2回にわたり自動に設定室温を下げます。(設定室温表示は変わりません)
■比較の観点から
運転開始直後のお部屋の温度を検知して、自動に設定室温を下げる時間を30分より短くして効率よく暖房運転を行います。(設定室温表示は変わりません)
■燃焼を再開するときに、点火装置の音 (バフ、バチ...) がします。
■お部屋の温度が設定室温より1℃を超える場合は、自動的に燃焼を停止します。(燃焼を停止している間は設定室温は下がりません。)
■お部屋の温度を保つために、しばらくご使用にならない場合は、再度運転してください。

15 自動消火機能について

消し忘れを防ぐため、運転開始後、設定した時間 (3時間・5時間・8時間) が経過すると、自動的に消火する機能です。

自動消火時間を変更するには

操作は運転を停止させてから行ってください。

1.「^」スイッチを5秒以上押し続けます。(ピッと音がするまで押します。)

- 表示部に現在設定されている時間が表示されます。
- 初めてお使いになるときは「F8」(5時間) に設定されています。

- お願い
- ▶運転中やおはようタイマー運転の待機中、ロック中は、設定時間の変更はできません。いったん解除して運転を停止させてから、変更操作を行ってください。

- 2回目以降は、前回設定した時間が表示されます。

2.「V」または「^」スイッチを押して変更します。

- 押した時に「F3」⇒「F5」⇒「F8」時間と切り替わります。

3.おはようスイッチを押します。

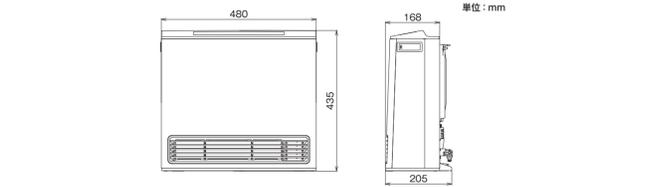
- 自動消火時間の変更がセットされます。
- 何も操作しない状態が続くと (約1分間)、現在時刻表示に戻り、前回設定した時間から変更されません。

記憶機能

設定室温、Eco運転の選択、暖房・イオン同時運転の設定、おはようタイマー運転の設定時刻およびおやすみタイマー運転の設定時間、自動消火機能の設定時間は、一度設定すればマイコンが記憶します。電源プラグをコンセントから抜いた場合でも、次回運転するときと同じ設定状態であれば、あらかじめ設定する必要はありません。

16 仕様・寸法図

品 名	RC-U5801PE 型	RC-U5801PE 型
形 式	RC-U5801PE	RC-U5801PE
一 般 木 造	都市ガス13A・LPガス用：15畳まで	都市ガス12A用：14畳まで
鉄 骨 造	都市ガス13A用：21畳まで	LPガス用：20畳まで
鉄 骨 造	都市ガス12A用：19畳まで	
外 形 寸 法 (mm)	高さ435×幅480×奥行168 (標準205)	
積 載 重 (kg)	8.0kg	
電 気 消 費 量 (50・60Hz)	18W (待機電力7W)	
接 続 電 気	ガスコード(小口径送風機手付)	
燃 焼 方 式	AC100V・50/60Hz (電源コード長さ2m)	
排 気 方 式	ファン送風式	
種 類	燃焼方式	連続放電点火方式
点 火 方 式	不完全燃焼防止装置 (熱電対式)	・過電流防止装置 (電流ヒューズ)
安全 装 置	・立消え安全装置 (熱電対式)	・過電圧安全装置
	・転倒時ガス遮断装置	・スイッチ回路安全装置
	・過熱防止装置 (温度ヒューズ、サーミスタ)	・自動消火機能
付 属 品	取扱説明書 (保証書付)	
使用ガス・使用ガスグループ	形 式 の 呼 び 名	ガス消費量
都 市 ガ ス 用	12A・13A	13A：5.81～1.05kW
	RC-U5801PE	12A：5.42～0.98kW
	RC-U5801PE(G)	5.81～1.51kW
L P ガ ス 用	RC-U5801PE	5.60～1.28kW



17 日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行ってください。

日常の点検
点検のポイント……次のチェックポイントを点検してください。
ガスコードは
<ul style="list-style-type: none">正しく接続されていますか? 折れたり、ねじれたりしていませんか?
電源コードは
<ul style="list-style-type: none">正しくセットされていますか? はきりかきかかっていますか?
エアフィルターは
<ul style="list-style-type: none">ほこり詰まりはありませんか? 機器内部は ほこり詰まりはありませんか?
お願い
<ul style="list-style-type: none">化学系漂白剤、酸性やアルカリ性洗剤、スプレー式洗剤、ベンジン、シンナーなどは、絶対に使用しないでください。塗装の色があせたり、樹脂製の部品が着色したりします。 お手入れの際は、けがを防ぐためにも、手袋をはか行ってください。
機器内部にほこりやごみが多く付着している場合には、定期整備を受けられることをおすすめします。

お手入れ

●機器のお手入れ (1か月に1回程度)

- 汚れたらそのつどお手入れをしてください。
- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってから拭いてください。特に汚れのひどいときは、やわらかい布に台所用中性洗剤を付けて拭き取ってください。

●吹き出し口のお手入れ (1か月に1回程度)

- 1か月に1回程度は、吹き出し口のほこりを、電気掃除機などで掃除してください。
- 吹き出し口に白い粉や汚れが付着することがありますが、異常ではありません。そのようなときは、やわらかい布で拭き取ってください。

お願い

- 化学系漂白剤、酸性やアルカリ性洗剤、スプレー式洗剤、ベンジン、シンナーなどは、絶対に使用しないでください。塗装の色があせたり、樹脂製の部品が着色したりします。

- お手入れの際は、けがを防ぐためにも、手袋をはか行ってください。

●エアフィルター・感温部のお手入れ (1か月に1回程度)

- 1か月に1回程度は、掃除してください。
- エアフィルターにほこりが詰まったり、フィルター掃除サインが赤色に点滅し、お掃除時期をお知らせします。この場合には、必ずエアフィルターの掃除を行ってください。
- 電気掃除機のブラシなどを使ってエアフィルターを装着したままほこりを取り取ってください。汚れがひどい場合は、エアフィルターを取り外し、はたきや、やわらかいブラシなどで、詰まっているほこりを取り除いてください。

- 適度な特にひどい汚れが付着しているときは、エアフィルターを取り外し台所用中性洗剤で手早く洗い、水をよくきってから十分に乾燥させてください。さびおそれがあります。

(取り外しかた)

- ①エアフィルター上面にある2つのクリップを押し、エアフィルターを本体から取り外します。
- ②2つのクリップを離れて、③2つクリップを離れて固定します。

